



国土交通省 千曲川河川事務所

Chikumagawa River Office
Hokuriku Regional Development Bureau
Ministry of Land
Infrastructure, Transport and Tourism

【取り扱い】 本資料の発表をもって解禁

記者発表資料
令和7年4月2日

国土交通省

令和7年度 千曲川河川事務所事業の概要について

信濃川水系では、令和元年東日本台風（台風第19号）における甚大な被害を受け、流域内の関係者が連携して「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を進めているところだ。

令和7年度は、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト（以下プロジェクト）」を更に加速させるとともに、「信濃川水系河川整備計画」に基づく事業を実施していくことで、地域の「安全・安心」に向けた川づくりを推進してまいります。

1 河川改修関係 R7当初事業費：678百万円（工事諸費等を除く）

①洪水を安全に流すため、弱小堤防区間の堤防整備を推進します。

- ・生坂村 ^{しもいくの}下生野地区
- ・堤防・市道機能向上協働化事業（^{ながの}長野市）

②災害時の活動拠点及び地域活性化、地域の賑わいを創出するMIZBEステーション整備を推進します。

- ・飯山地区MIZBEステーション（^{いいやま}飯山市）

2 河川維持修繕関係

○千曲川及び犀川の河川管理施設等の点検・維持管理及び修繕を行います。

3 河川工作物関連応急対策関係 R7当初事業費：105百万円（工事諸費等を除く）

○千曲川河川事務所管内の老朽化した観測データ伝送設備（テレメータ）の更新を実施します。

4 河川環境整備関係 R7当初事業費：276百万円（工事諸費等を除く）

①かつて広大に形成していた砂礫河原の保全・再生を実施します。

- ・坂城町 ^{なかのじょう}中之条地区

②かわまちづくり計画により賑わいある水辺空間を創出するため水辺整備を実施します。

- ・安曇野市 ^{あかしな}明科地区
- ・小布施町 ^{おぶせ}小布施地区

5 大町ダム等再編事業関係 R7当初事業費：3,965百万円（工事諸費等を除く）

○土砂輸送用トンネルの工事進捗を図ります。

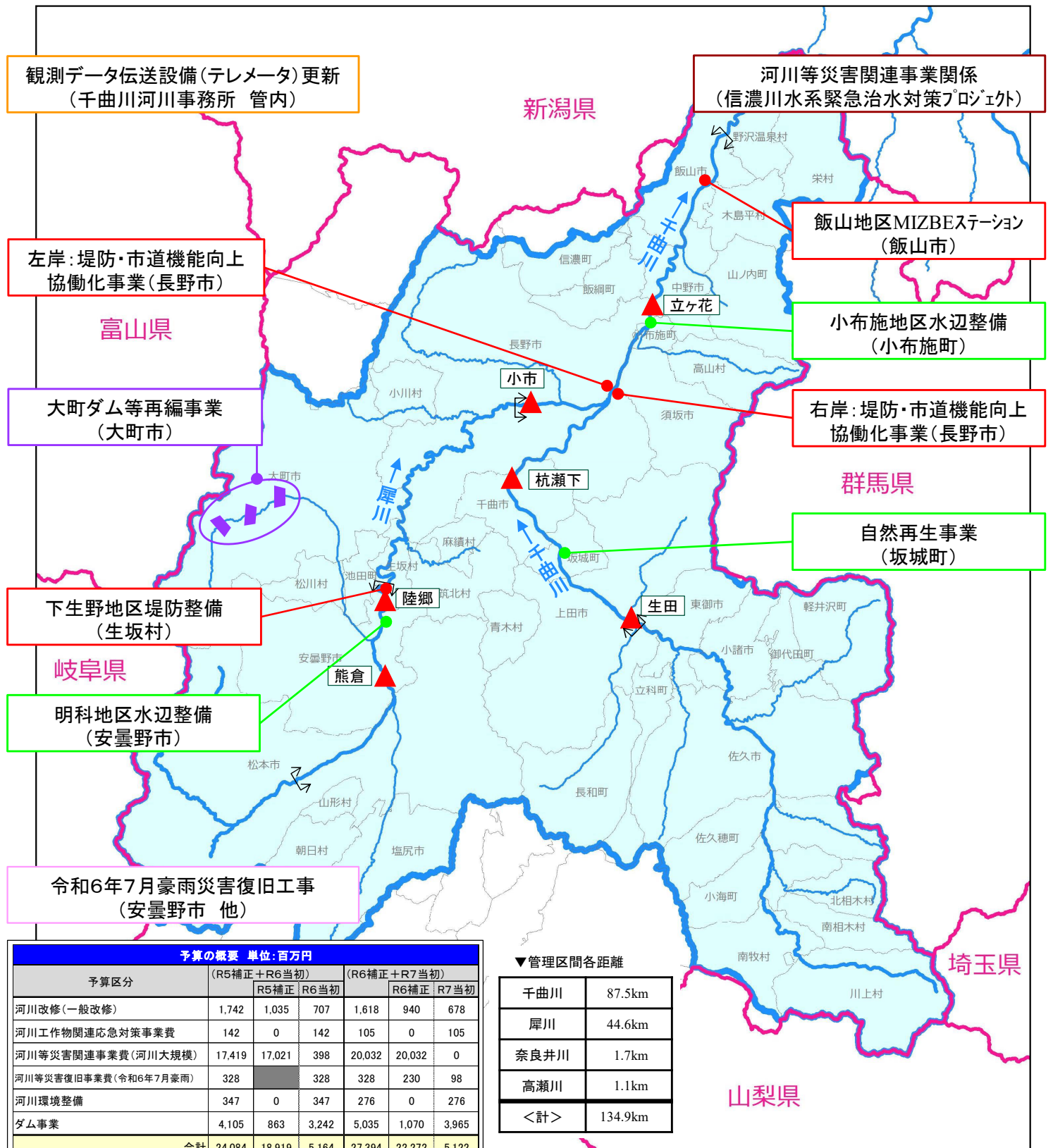
6 信濃川水系緊急治水対策プロジェクト R6補正+R7当初事業費：20,032百万円（工事諸費等を除く）

○信濃川水系緊急治水対策プロジェクト（千曲川）の「河川における対策」の内、水位低減を図る河道掘削、遊水地及び堤防強化対策を推進します。

7 令和6年7月豪雨災害復旧工事 R6当初・補正+R7当初事業費：656百万円（工事諸費等を除く）

○令和6年7月豪雨に伴い、被災した箇所の災害復旧工事を実施します。

令和7年度 実施予定箇所 位置図



予算の概要 単位:百万円						
予算区分	(R5補正+R6当初)			(R6補正+R7当初)		
	R5補正	R6当初		R6補正	R7当初	
河川改修(一般改修)	1,742	1,035	707	1,618	940	678
河川工作物関連応急対策事業費	142	0	142	105	0	105
河川等災害関連事業費(河川大規模)	17,419	17,021	398	20,032	20,032	0
河川等災害復旧事業費(令和6年7月豪雨)	328		328	328	230	98
河川環境整備	347	0	347	276	0	276
ダム事業	4,105	863	3,242	5,035	1,070	3,965
合計	24,084	18,919	5,164	27,394	22,272	5,122

※工事諸費等を除く
※金額はそれぞれ四捨五入しているため端数において合計と一致しない場合がある

【配布先】

- 長野県庁会見場
- 長野市政記者クラブ
- 長野市政記者会
- その他・専門紙

【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局
千曲川河川事務所 026(227)7611
副所長(技術) 服部 信 (はっとり まこと)
副所長(管理) 山邊 満 (やまべ みつる)
流域治水課長 小林 崇 (こばやし たかし)

【千曲川河川事務所
X (旧twitter)】



【千曲川河川事務所
繋プロHP】



ちくまがわ しもいくの
千曲川 下生野地区 堤防整備 の推進
ながの ひがしちくま いくさか
長野県東筑摩郡生坂村

R7事業費
678百万円※

※千曲川河川改修事業のR7当初全体事業費

事業の概要

ちくまがわ さいがわ しもいくの
千曲川の支川である犀川に位置する下生野地区は無堤区間となっており、平成18年7月洪水において上流ダム群の特例操作により被害を回避しましたが、洪水により水位が上昇した場合、家屋浸水被害が発生するおそれがあります。

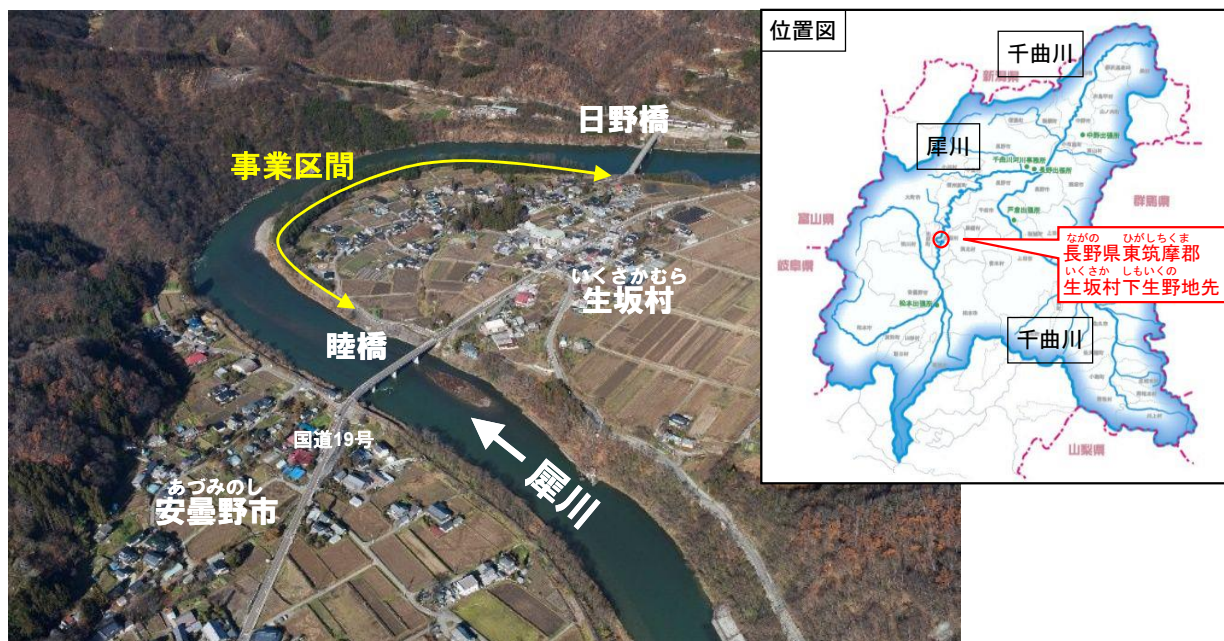
信濃川水系における流域治水の一環として、下生野地区において、堤防整備を推進します。

整備効果

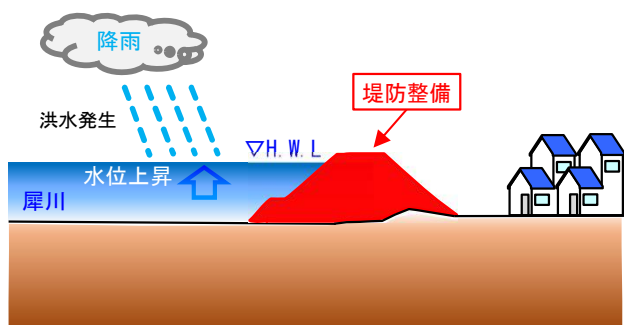
ちくまがわ
堤防整備の実施により、千曲川流域の治水安全度を向上させます。

令和7年度の事業内容

しもいくの
氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策として、下生野地区の堤防整備を推進します。



整備イメージ図



平成18年7月出水時の状況

➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

ちくまがわ

千曲川

堤防・市道機能向上協働化事業

の推進

ながの
長野県長野市

R7事業費

678百万円※

※千曲川河川改修事業のR7当初全体事業費

事業の概要

千曲川の長野市及び須坂市の村山橋～落合橋間の堤防は、高さや断面が不足しているとともに、浸透に対する安全度が低く、洪水により堤防が決壊した場合、甚大な被害が発生するおそれがあります。

しなのがわ

信濃川水系における流域治水の一環として、千曲川において堤防整備等を推進します。

整備効果

堤防整備等の実施により、千曲川流域の治水安全度を向上させます。

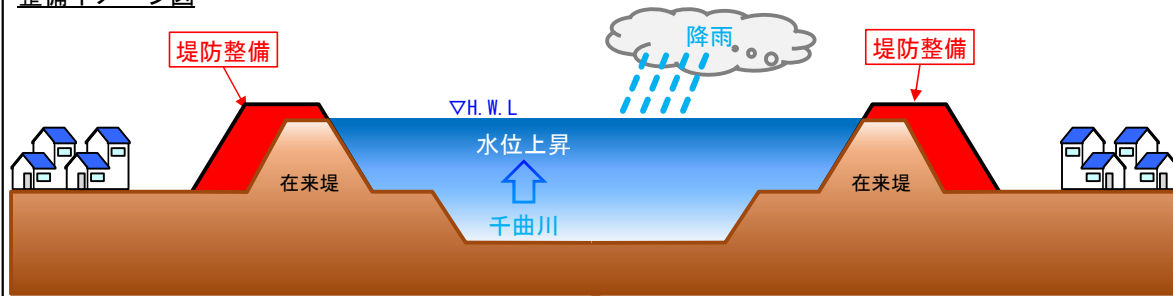
令和7年度の事業内容

氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策として、堤防・市道機能向上協働化事業を推進します。

位置図



整備イメージ図



➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。

<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

ちくまがわ
千曲川 環境整備 自然再生の推進
ながの はにしな さかき なかのじょう
長野県埴科郡坂城町(中之条地区)

R7事業費
276百万円※

※信濃川総合水系環境整備事業のR7全体事業費

事業の概要

千曲川では、かつて広大な礫河原を有していましたが、河床低下など様々な要因によって、高水敷と低水路の高低差が拡大し、礫河原が減少しています。さらに、アレチウリ・ハリエンジュ等の外来種が侵入・拡大し、もともと千曲川に生息する在来種の生息環境が悪化・減少しています。

本事業は、信濃川水系における流域治水の一環として、河道掘削を行うことにより、礫河原を再生し、景観の観点からも千曲川の魅力の向上を図ります。

整備効果

礫河原の再生を進めることで、河川特有の多様な生息地が形成されるほか、アレチウリ等の外来種の繁茂が抑制され、千曲川本来の自然環境の再生を図ります。

令和7年度の事業内容

グリーンインフラの取り組みとして、中之条地区において、礫河原の再生（河道掘削）を推進します。

位置図



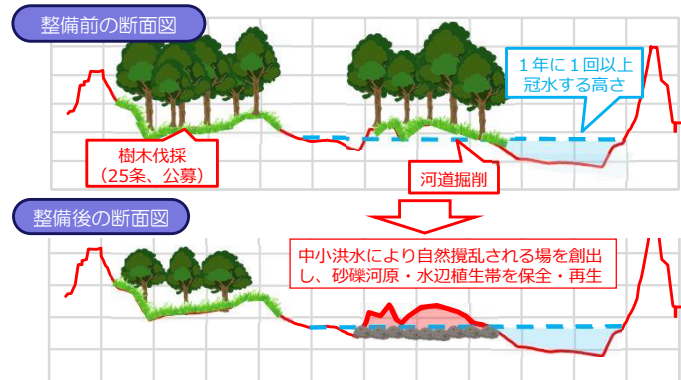
<整備済み箇所>



平面図



<河道掘削のイメージ>



➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

さいがわ
犀川

環境整備 水辺整備 の着手

ながの あづみの あかしな
長野県安曇野市（明科地区）

R7事業費
276百万円※

※信濃川総合水系環境整備事業のR7当初全体事業費

事業の概要

あづみの 明科地区では、各種ウォーターアクティビティが楽しめるさいがわ犀川や北アルプスの雄大な眺望やトレッキング等が楽しめる長峰山等、エリアにアウトドア資源があるものの、市民がより集いやすくなり、水辺空間を中心に人々がまちを巡り、地域全体で新たな出会いや活動の創出が求められています。

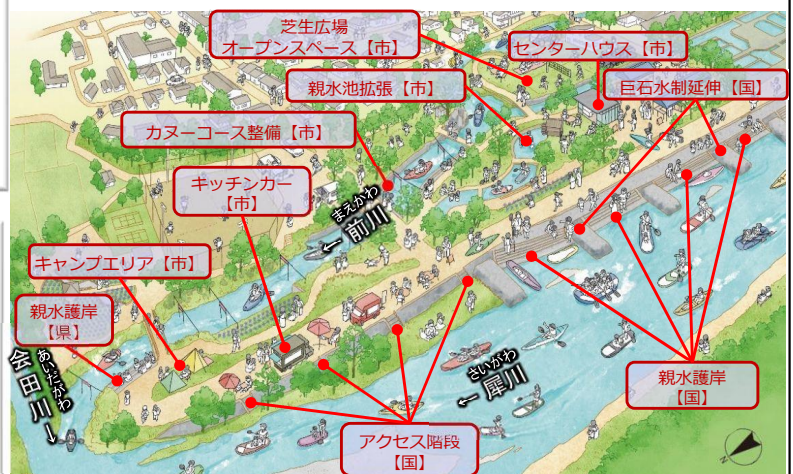
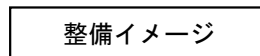
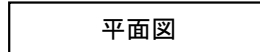
本事業は、「あづみの さいがわ まえかわ 安曇野市犀川×前川かわまちづくり」が登録されたことを踏まえ、親水護岸、巨石水制等の整備を行います。

整備効果

河岸の利便性と安全性を高める整備を行い、関係機関とも連携しながら水辺の賑わい創出、地域の活性化を目指します。

令和7年度の事業内容

あかしな 明科地区水辺整備の測量設計を実施します。



おおま
大町ダム等再編事業の推進
ながの おおま
長野県大町市

R7当初事業費
3,965百万円

事業の概要

千曲川は令和元年10月台風19号豪雨水害で甚大な被害が発生するなど、これまで幾度も甚大な洪水被害が発生しています。

このため、高瀬川の既設ダムである高瀬ダム・七倉ダムの発電容量の一部と、大町ダムの水道容量の一部を洪水調節容量として新たに確保し、下流の洪水流量をさらに減少させること、さらに流入土砂対策を行うことにより長期的にダムの機能を確保することを目的とした大町ダム等再編事業を、令和2年度より進めています。

近年の気候変動に伴い激甚化・頻発化する水害・土砂災害等に対し、ハード対策とソフト対策が一体となった治水対策である「流域治水」の一環として、再編事業を実施します。

整備効果

洪水量をさらに低減させ、下流域の治水安全度を向上させます。

令和7年度当初予算の事業内容

土砂輸送用トンネルの工事進捗を図ります。

位置図



たかせ
高瀬ダム

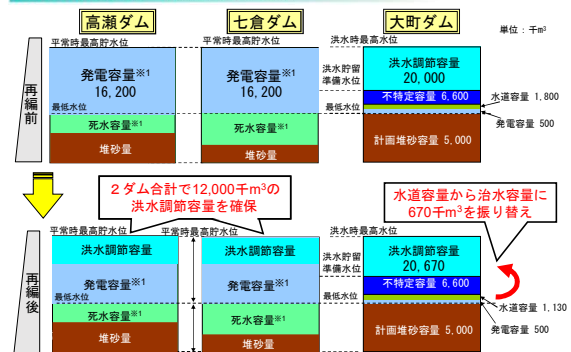


ななくら
七倉ダム

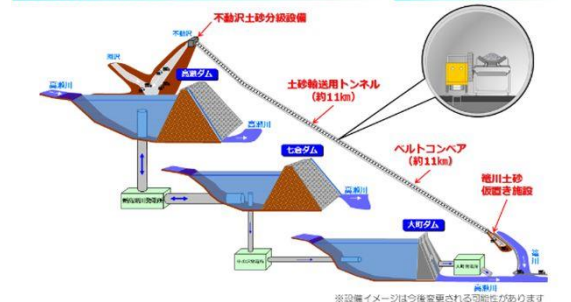


おおま
大町ダム

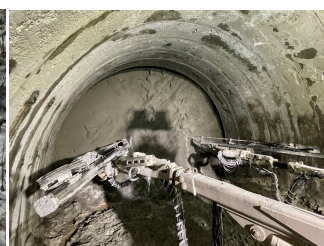
大町ダム等再編事業 容量再編イメージ図



大町ダム等再編事業 土砂対策イメージ図



土砂輸送用トンネル工事 工事現場(全景)



掘削状況 (NATM工法)

TBM(トンネルボーリングマシン)



➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

しなのがわ

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト(千曲川)※1の推進

ながの ながの

長野県長野市 他

ちくまがわ

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト(千曲川)※1の推進

R6補正及びR7事業費

20,032百万円※2

※2: 千曲川の河川等大規模災害関連事業費のR6補正及びR7当初全体事業費の合計

事業の概要

令和元年東日本台風では信濃川水系の千曲川上流域から信濃川中流域の広域にわたって甚大な被害が発生したことから、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」として、国、県、市町村が連携して河川整備によるハード対策と流域における対策や地域連携によるソフト対策を一体的かつ緊急的に実施します。

「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」の概要

○以下の3つを柱として取り組んでいきます。

- ①被害の軽減に向けた治水対策の推進（河川における対策）
- ②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進（流域における対策）
- ③減災に向けた更なる取組の推進（まちづくり、ソフト施策）

関係機関が連携し、上記の3つの取組を実施し、「再度災害防止・軽減」、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指します。

令和7年度の事業内容

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト（千曲川）の「河川における対策」の内、水位低減を図る河道掘削、遊水地及び堤防強化を推進します。

～ みんなでつなぐしなのの川 ～

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト ～「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進～



※1:「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」

➤ 緊急治水対策プロジェクトの詳細は下記にてご覧いただけます。

http://www.hrr.mlit.go.jp/river/sinanogawakinkyutisuitaisaku/sinanogawakinkyutisuitaisaku_top.htm